



きょうりゅう たたか
恐竜はどうやって戦ったの

にくしょくきょうりゅう ぶき
肉食恐竜の武器は、かぎづめ、きば、スピード

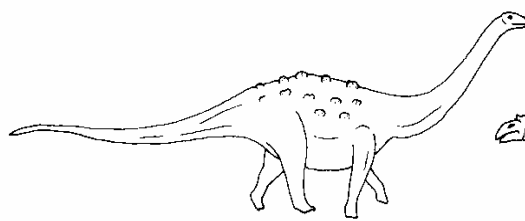
ティラノサウルスのような ^{おおがたにくしょくきょうりゅう} 大型肉食恐竜は、^{しょくぶつ た} 植物を食べる ^{きょうりゅう むれ} 恐竜の群に近づき、^{ちか むれ} 群からおくれたものにねらいをつけ、^{じそく いじょう} 時速32キロメートル以上のスピードで追いかけて、^お 首に大きなあごでかみついて倒したのでしょうか。ギザギザのついた ^は 鋭い歯は、^{きょうりゅう} 恐竜の、^ひ うろこのあるかたい皮 ^{やぶ} 皮も、かみ破ることができたのです。

^{おお} 大きなかぎづめをもち、^{とり} 鳥のようにすばやく走ることができた ^{はし} デイノニクスは、^{なかま} 仲間といっしょに ^{しゅうだん} 集団で、^{おお えもの} 大きな獲物をおそったようです。獲物を、^{えもの} かぎづめのついた ^{うし} 後ろ足でけり、^{なが つよ まえあし} かぎづめのついた、長くて強い前足でかきむしたのでしょうか。

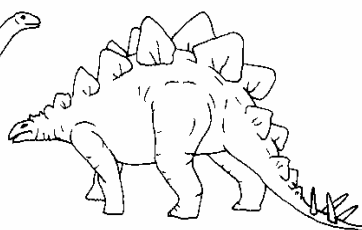
そうしょくきょうりゅう ぶき
草食恐竜も武器をもっていた

おそわれる ^{がわ} 側の ^{そうしょくきょうりゅう} 草食恐竜も、^{こぼね} するどいかぎづめをもちたり、^{こつばん} サルタサウルスのように、^{せなか} 小骨でできた ^{ばら} こぶのような骨板で、^{まも} 背中やわき腹を守っていました。ステゴサウルスのように、^{はな} スパイクのついた ^{うえ} しっぽを、^{つの} ふりまわすものもいました。鼻の上の角や、^お とがった ^{しほう} スパイクの ^{おお} 大きい ^{てき} えりかざりをもつ ^{なが} スティラコサウルスは、^{ぶき} この角とえりかざりで、^{あいて} 四方の敵をおどしたのでしょうか。ディプロドクスの ^た 長い ^あ むちの ^{あいて} ような ^{あいて} しっぽも武器になり、^{あいて} しっぽで ^{あいて} ささえて ^{あいて} 立ち上がり、^{あいて} 相手をおどすこともできたようです。

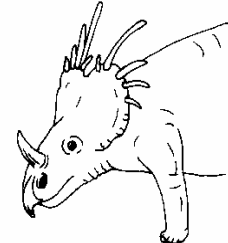
(監修・今泉 忠明)



サルタサウルスのこぶ



ステゴサウルスのしっぽ



スティラコサウルスのえりかざり

